

中部運輸局観光部

令和2年1月17日

定例記者懇談会発表



連絡先：国土交通省中部運輸局

観光部観光地域振興課 伊藤・豊田

Tel 052-952-8009

ラグビーワールドカップ2019・F1日本グランプリ開催に 合わせて来場者へアンケートを実施しました《速報版》

中部運輸局では、9月から10月にかけてラグビーワールドカップ2019及びF1日本グランプリの開催で欧米豪からの訪日外国人旅行者が来訪するのに合わせて、来場した訪日客を対象に動向及び情報入手に関するアンケートを実施しました。

来場者の行動決定にあたりクチコミ等が重要である事が再確認できました。

引き続き詳細な調査・分析を行い3月末で報告書を公表する予定としており、以降の効果的な商品造成・受入環境整備の取組を促進します。

○調査方法

- ・調査員による対面聞き取りアンケート

○実施場所及び日時

・エコパスタジアム	9/28	100名	(日本 vs アイルランド)
	10/9	92名	(スコットランド vs ロシア)
	10/11	126名	(オーストラリア vs ジョージア)
・鈴鹿サーキット	10/13	64名	(予選&決勝)
	計	382名	

※豊田スタジアム 10/12 ニュージーランド vs イタリアは予定していたが台風により中止

※鈴鹿サーキット 10/12 予選であったが台風により翌日の決勝レースと同日での開催になった

○概要

- ・別紙のとおり

- ◆アンケートを実施した来場者の居住地は「英国」「オーストラリア」「アイルランド」で7割弱を占め、他国は少数ずつであった。(図表1)

- ◆2020 東京オリンピック・パラリンピック再訪日意向は、「現地で観戦する予定をしている」、「予定はないができれば現地で観戦したい」が3割弱あったが、RWC来場者の方がF1来場者と比べてより高い回答をした。(図表2)

- ◆平均滞在期間は、「RWC目的では17.38日」「F1目的では13.31日」であった。(図表3)

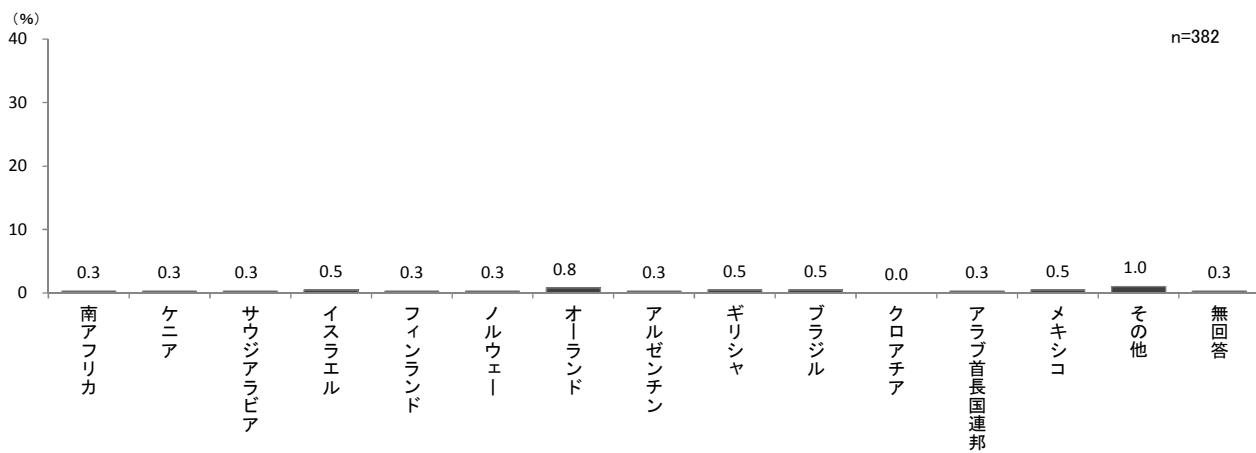
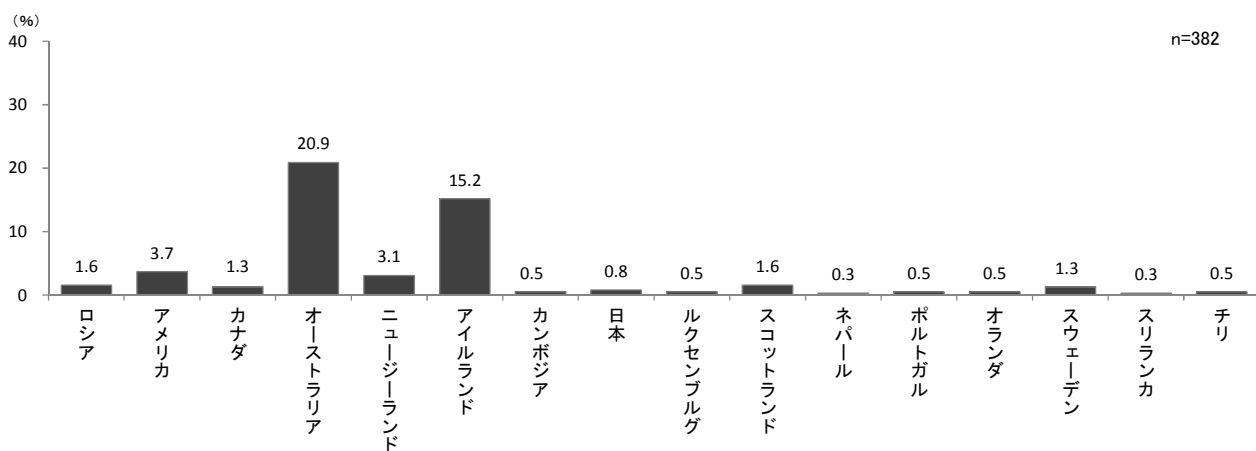
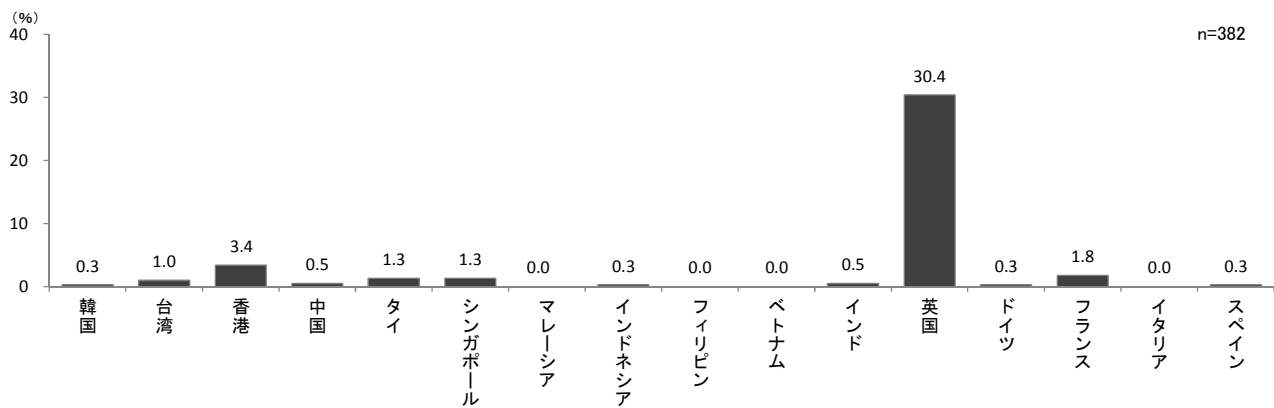
- ◆RWC・F1観戦が主目的ではあったが、二次目的「観光・レジャー」55.8%の回答があった。また「二次目的が訪日の後押しとなった」との回答は57.6%であった(図表4)

- ◆スポーツ・F1観戦の他に関心を惹く事項は、「日本食を食べること・日本の酒を飲むこと」等食に関して9割前後が関心を持っていた。
また、「自然・景勝地への観光」「伝統的な街並みでの散策」「伝統文化や 歴史的遺産・建築等を見ること」「日本の歴史・伝統文化体験」「日本の日常体験」に8割前後が関心を持っていた。(図表5)

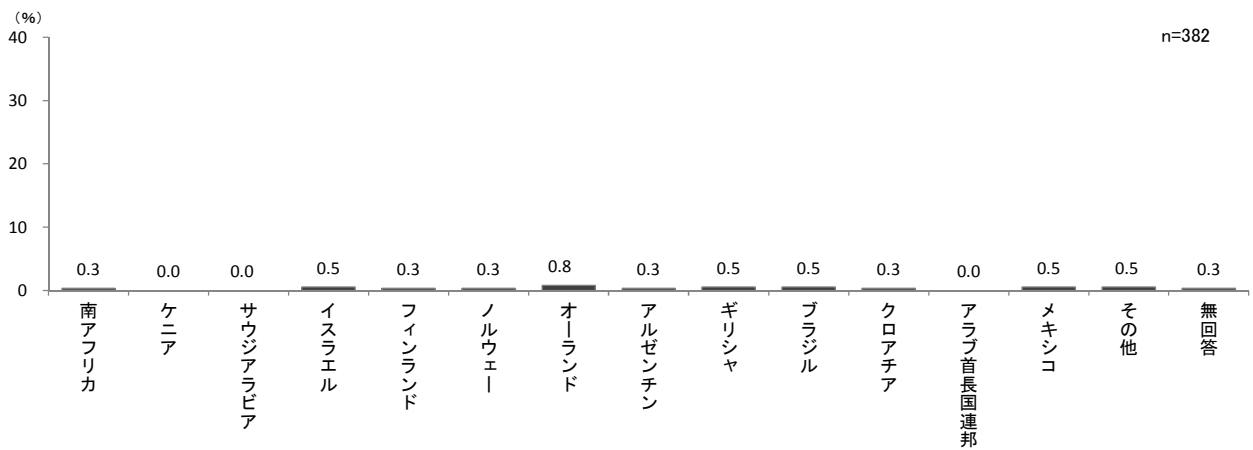
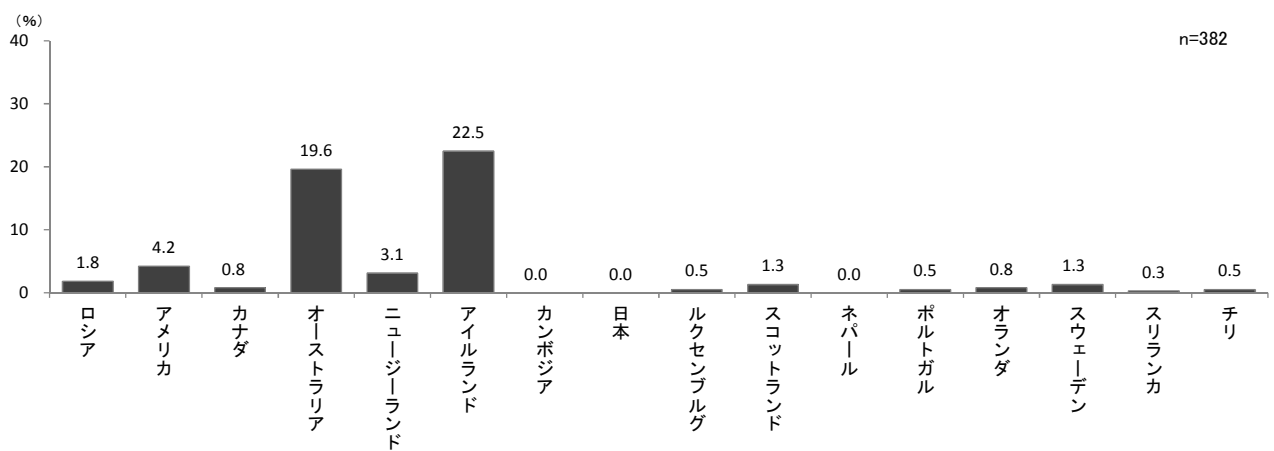
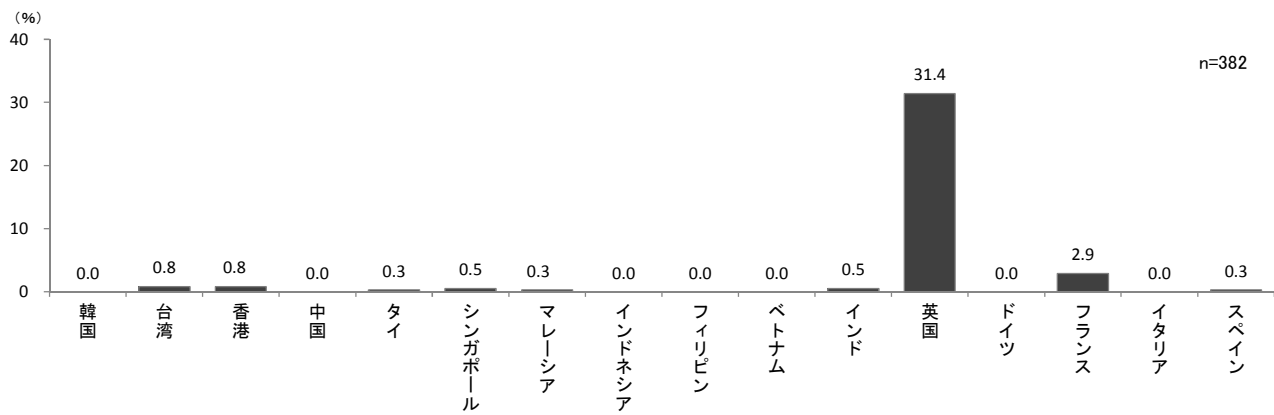
- ◆周遊先等の情報入手方法は、タビマエ・タビナカとも「クチコミサイト(トリップアドバイザー等)」が最も多く、次いで「SNS (Facebook/Twitter 等)」「母国の親族・知人」「JNTO ホームページ」「個人のブログ」「日本在住の親族・知人」と続き、他者からのクチコミを参考として行動する傾向が窺われた。(図表6・7)

- ◆タビナカで役にたった主な情報は「交通手段」「無料Wi-Fi」「宿泊施設」「飲食店」の順であった。(図表8)

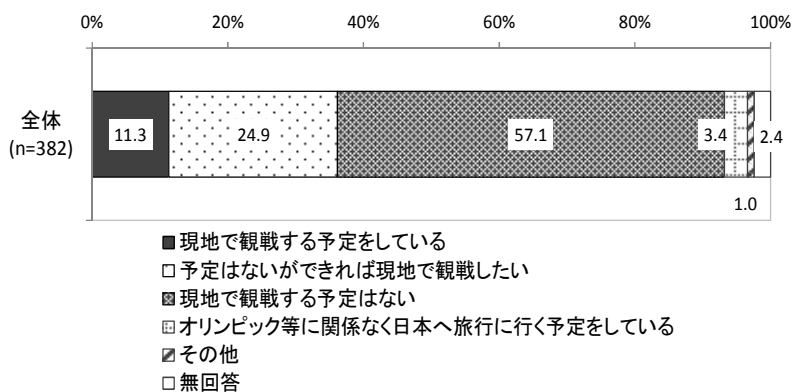
図表1 居住地



図表1-2 国籍・地域

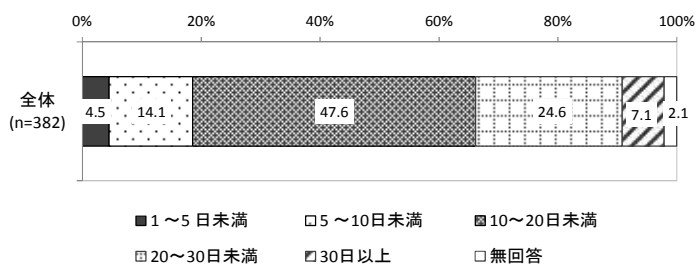


図表2 東京オリンピック・パラリンピックの観戦予定



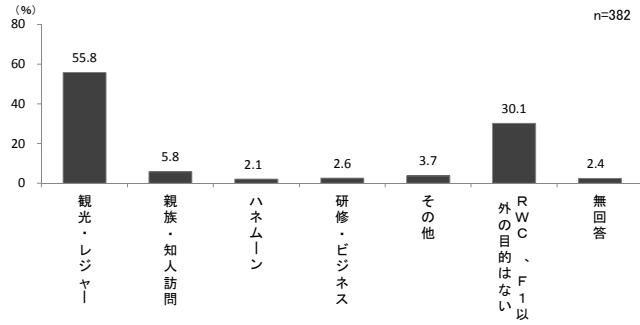
※「現地で観戦する予定をしている」「予定はないができれば現地で観戦したい」の合計は、RWC来場者に限定した場合は38.7%、F1来場者に限定した場合は23.4%であった。

図表3 滞在期間

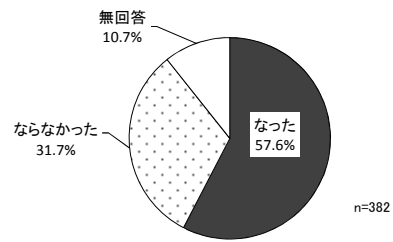


※滞在期間の平均は16.71日であるが、RWC来場者に限定した場合は17.38日、F1来場者に限定した場合は13.31日であった。

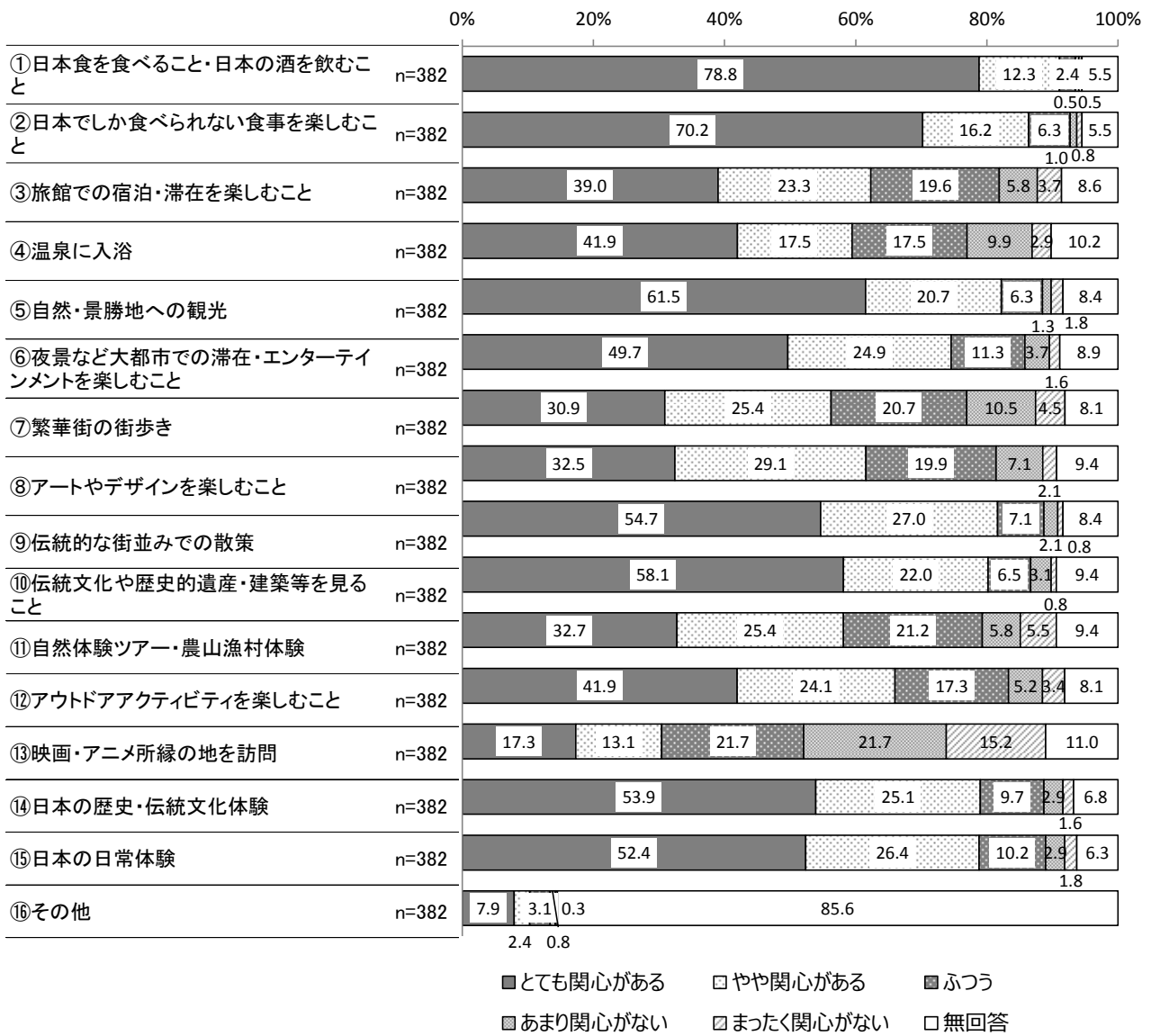
図表4 日本訪問の二次目的



4-2 二次目的が日本訪問の後押しとなったか

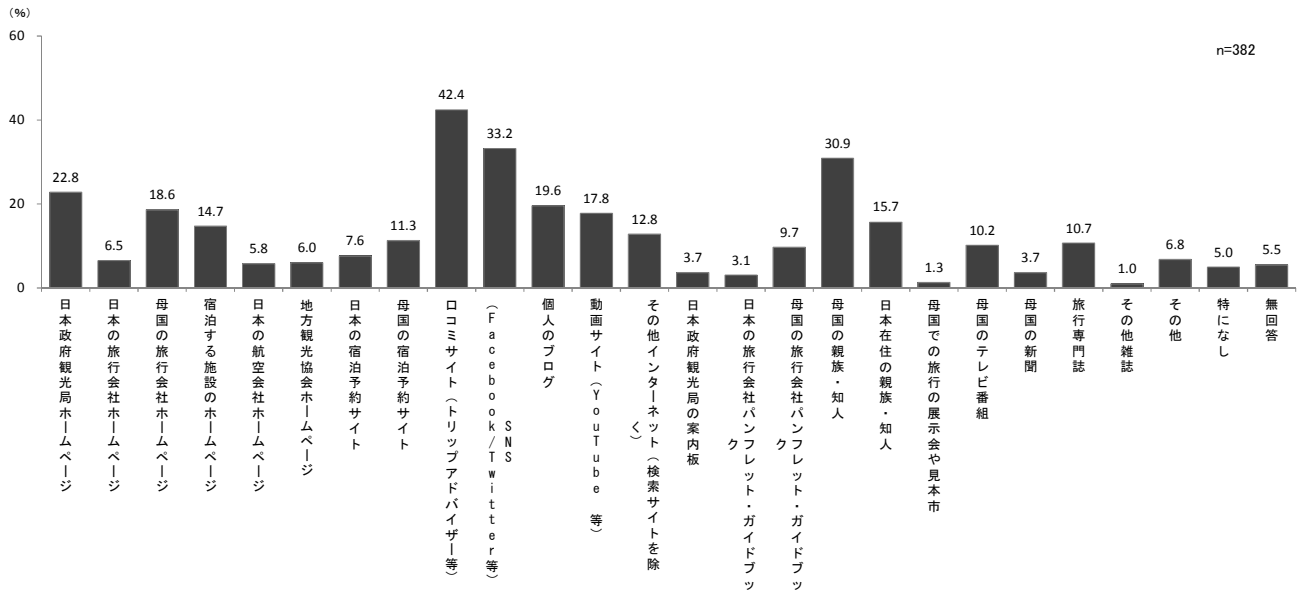


図表5 スポーツ・F1 観戦のほか関心のあること

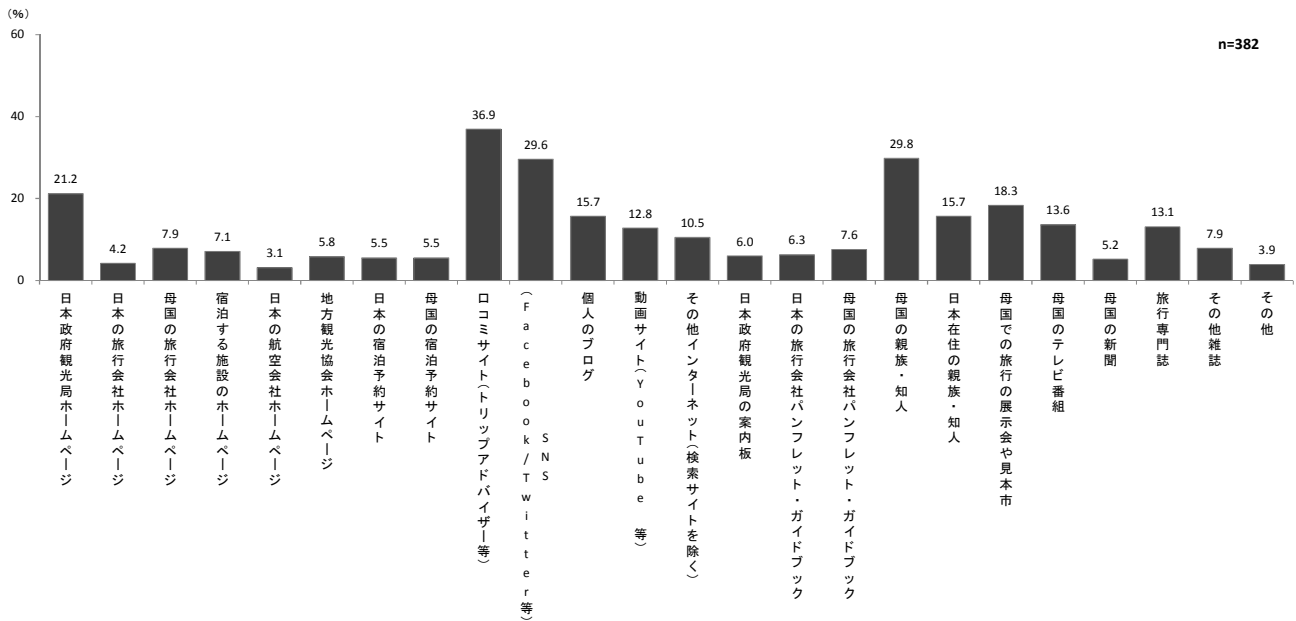


とても関心がある
 やや関心がある
 ふつう
 あまり関心がない
 まったく関心がない
 無回答

図表6 日本に来る前に日本での周遊先の情報を入手した媒体



図表7 日本の旅行情報の中で役立つ媒体



図表8 日本滞在中に得た情報で役立つもの

